Big Ben Falls Silent
ビッグベン、時計塔の改修で4年間の沈黙へ

ロンドンの観光名所となっているビッグベン

次の点に注意してニュースを聴いてみよう!

- ビッグベンは何年前からありますか。
- ビッグベンの重さはどれくらいですか。
- ビッグベンはどこに位置していますか。

精聴トレーニング

Practice 1 英文を見ずに、ナチュラルスピード 7 で聴いてみる。

Practice 2 英文を見ながら音声を聴き、聞き取れなかった箇所の音と文字を確認する。
必要ならゆっくりスピード(ポーズ入り 8 / ポーズなし 9)も活用し、聞き取り練習をする。

Practice 3 英文・語注・日本語訳を参考に、内容を理解する。その後、音声を繰り返し聴いて耳を慣らす。さらに、英語の音声をまねながら、音読する。

Optional

1. ナチュラルスピードまたはゆっくりスピードでシャドーイング。
2. ナチュラルスピードまたはゆっくりスピードでディクテーション。
3. 区切り訳の日本語を英語に変換する(反訳練習)。

キーワード

atop of [ətɔ́p]	～の上に、頂上に
in (all) one's glory [glɔ́:ri]	全盛で、得意の絶頂にあって
extensive [iksténsiv]	大規模な
fall silent [sáilənt]	沈黙する、黙り込む
renovation [renəvéiʃən]	修理、改装

写真:Public domain

ナチュラル 7 ナチュラルスピード イギリス英語　　ゆっくり 9 ゆっくりスピード（ポーズなし） アメリカ英語

Big Ben Falls Silent

So, there you have it—Big Ben, 158 years old, weighing 13.7 tons, that bell, sitting atop of the Elizabeth Tower, [as] you can see there in all its glory, at the Palace of Westminster. But 158 years on, it is in need of extensive **repairs**—the entire clock tower—and so Big Ben will fall silent now for up to four years while those renovations and **repairs** are under way at the Palace of Westminster. ≫76 words（August 21, 2017）

ビッグベン、時計塔の改修で4年間の沈黙へ

そう、次はこれだ——ビッグベンが鳴り始めて158年。重さ13.7トンのこの鐘は、ウェストミンスター宮殿のエリザベスタワー（時計塔）のてっぺんに、ご覧のとおり、堂々と鎮座している。だが、（設置から）158年の時がたち、大規模な改修工事が必要となった——時計塔全体のだ。そこでビッグベンは、ウェストミンスター宮殿で（時計塔の）改装・改修工事が行われる間、最長で4年間沈黙することになる。（訳　石黒円理）

リスニングのポイント

最近のイギリス英語では、［エア］のように聞こえる二重母音が、しばしば長母音で発音される。

3行目と最終行の repairs ≫［リペーズ］

repairsの-pairsの部分の母音は、本来は［**エ**ア］のように聞こえる二重母音ですが、最近のイギリス英語では、［**エ**ー］と［**ア**ー］の中間くらいの響きがする長母音で発音されるようになりました。ほかにも、careが［**ケ**ー］のように、hairが［**へ**ー］のように、rareが［**レ**ー］のように聞こえます。rarelyは、［**レ**ーリー］と［**ラ**ーリー］の中間くらいの響きになりますので、rallyと聞き間違える可能性があります。また、airportは、［**エ**ーポート］と［**ア**ーポート］の中間くらいの響きになりますので、最後にある［t］が聞こえない場合、appleと聞き間違える可能性があります。同様に、本来は［**イ**ア］のように聞こえる二重母音が、最近のイギリス英語では、bigやmissの母音（「イ」と「エ」の中間くらいの響きがする短母音）を長く伸ばした感じで発音されることがあります。その場合、ideaが［アイ**ディ**ー］のように、hereが［**ヒ**ー］のように聞こえます。

解説　南條健助（桃山学院大学国際教養学部准教授）